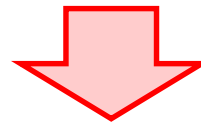


- 原則として「下水汚泥リサイクル率」と「下水道バイオマスリサイクル率」を用いて汚泥利用の取組を評価。
- 「下水汚泥エネルギー化率」はバイオマスリサイクル率に含まれるものとして整理。
- **省エネの取組は別途指標を創設し、汚泥利用と切り分けて取組を評価。**

指標	評価対象	実績値と現行の目標値(目標年度)
下水汚泥リサイクル率	下水汚泥のマテリアル利用 (建設資材、肥料利用、燃料化等)	・バイオマス活用推進基本計画 ・73%(H28) → 85%(H37)
下水道バイオマスリサイクル率	下水汚泥有機分のエネルギー・肥料利用 (バイオガス、固形燃料、焼却廃熱、肥料等)	・国土交通省生産性革命プロジェクト ・27%(H28) → 40%(H32)
下水汚泥エネルギー化率	下水汚泥有機分のエネルギー利用 (バイオガス、固形燃料、焼却廃熱等)	・社会資本整備重点計画 ・17%(H28) → 30%(H32)



指標	施策との関係性
下水汚泥リサイクル率	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥減量化の努力義務(下水道法) ・バイオマス活用推進基本計画
下水道バイオマスリサイクル率	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料化・肥料化の努力義務(下水道法) ・バイオマス活用推進基本計画(H28.9.16) ・循環型社会形成推進基本計画(H30.6.19) ・エネルギー基本計画(H307.3) ・国土交通省生産性革命プロジェクト

下水処理場の省エネ指標について

- 新下水道ビジョンでは「下水道で消費するエネルギーを約1割削減する」ことを中期目標として掲載。
- 加速戦略においても「概ね20年で下水道事業における電力消費量の半減」を目標として取り組むことを明示。

⇒ 省エネの取組に対する指標が整備されていなかったことから、新たな指標を用いて評価。

(省エネ=改築に伴う省エネ機器の導入、各設備の運転方法の工夫(スマートオペレーション)等)

指標	評価対象	施策との関係性
単位水量当たりエネルギー消費量削減率 (REC削減率)	基準年からの 消費エネルギー削減率	・下水道事業における電力消費量の半減 (新下水道ビジョン、加速戦略)

【参考】平成17年(2005年)を基準年とした場合の全国平均値の試算(下水道統計を用いて集計)

	H17実績	H27実績
消費電力(MWh/年)	6,150,000	6,200,000
化石燃料由来エネルギー(MWh/年)	1,760,000	1,200,000
消費エネルギー合計(MWh/年)	7,910,000	7,400,000
処理水量(千m ³ /年)	13,660,000	15,480,000
単位水量当たりエネルギー消費量(kWh/m ³)	0.58	0.48
単位水量当たりエネルギー消費量削減率(%)	17	